

## 北極のメタンと北極海の氷——本当はどうなのだ？

Dane Wigington (geoengineeringwatch.org)

March 17, 2014



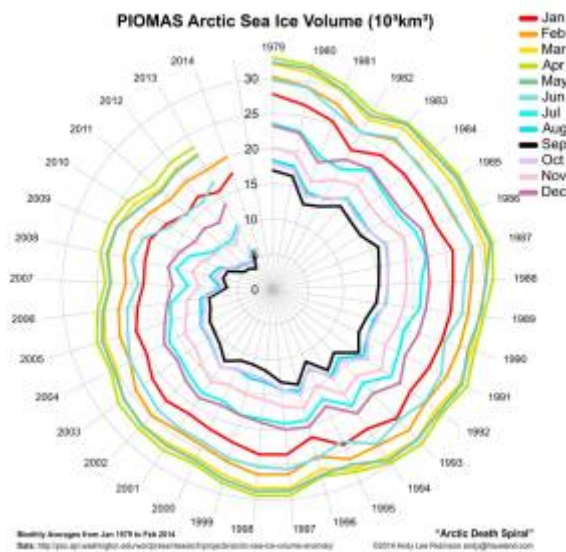
無理もないことだが、あまりにも多くの人々が、天候についての真相と、気候システムがすでに受けている損傷の全体像について、混乱した考えをもっている。ほとんどの主流メディア・ソースが、虚偽の話を次々と発表することによって、この混乱をつくり出し強化するための必死の努力をしている。その上に、今行われているような絶えまない、完全に操作された天候の全面攻撃を受けるならば、一般大衆は、現実の天候の見通しが全くつかず、意見も分れてしまうだろう。

では何が本当なのか？ 北極の氷は本当に拡大しているのか？ メタンガスの噴出が本当に問題であるなら、主流メディアがそれを報じて然るべきではないのか？ 少なくとも“独立した”メディア・ソースから、もっとその話を聞いていてよいのではないか？

いえいえ、それはありません、というのが答えだ。

北極の氷の“塊”は決して収縮を止めてはいない。昨年9月、“権力構造”によってコントロールされた主流メディアは、「事実」を必死に捏造し、ほとんどの大衆はまんまとこれに引っ掛かった。

2013年の夏、3つの「異常な」サイクロン（熱帯性低気圧）が北極の真上で起こった。その結果として、残っていた氷が、シャーベット状の非常に薄い層になって広がり、これが、北極の氷の「表面積」のほとんど最低記録を作った前年の2012年より広い領域を覆った。氷の「表面積」は、もちろん、「氷塊」すなわち全「体積」とは全く別のものである。



PIOMAS 北極海の氷の体積 (10<sup>3</sup>km<sup>3</sup>)、1979–2014 年間の月別の記録

主流メディアが事実をごまかしたのはここだった。彼らが掲げた見出しは、「北極の氷は50%も拡大していた」というものだった。確かにその通り——ではないのか？ 事実はこちらである——「表面積」(2013年の融解シーズンの終わりで、ほとんどシャーベット状になっていた時の面積)が、氷がほとんどなかった前年の2012年より、50%広い領域を覆っていたのである。ほとんど何もないものが50%増えたと言っても、それは2013年が、記録された「北極の氷の表面積」の4番目の低さだったことを考えれば、問題にならない。この事実を、主流メディアは一般に省いている。次に、メディアの見出しが“拡大する北極の氷”を宣伝していたその時点で、「氷塊」すなわち「全体積」は、30年間の平均のたった19%という歴史的低さを記録していた。(これも主流メディアが報じないもう一つの実事である。)



気象操作をする者たちは、2013年には、北極の氷融解を遅らせるために、あらゆる手段を

投入した様子である。太陽を曇らせるために、北極の上空に絶えずエアロゾル散布している（これは衛星写真や撮影フィルムから見る事ができる）。また、人工的/化学的な氷の核を作る物質を撒いているらしい。もし化学的に水を凍らせる方法などないと思っている読者があれば、勉強していただきたい。

### Engineered Snow Storms, What Are They Spraying?

<http://www.geoengineeringwatch.org/engineered-snowstorms-what-are-they-spraying/>

ところで、メタンガスの噴出についてはどうなのか、なぜほとんどすべてのメディアがこれを無視しているのだろうか？



いい質問だ。我々すべての者が、地上の**すべての**事実を調べ、それらを確認、うまく纏ったメディアの見出しを、現実のデータとして受け入れないようにする責任がある。アメリカの人工操作された冷却化地域に住んでいる人々は、次の記事を調べてみるべきである。

### Climate Engineering, Media Deception, and Hard Facts

<http://www.geoengineeringwatch.org/climate-engineering-media-deception-and-hard-facts/>

これは気象操作とどう関係するのだろうか？

地球的な気象操作計画はすでに、文字通り全域で“火を焚きつけている”。大規模な天候の操作計画が、一時的に広大な地域を冷却化することができても、それらはすでに酷くなった状況を、指数関数的に悪化させているだけである。武器として、また権力と支配の手段

として気象操作を用いることは、地球の生命維持システムを確実に死に追いやりつつある。いま行われている気象操作はすでに、地球を引き返せない地点にまで押しやった。もしこうした計画がこれ以上続くならば、地球上の生命にとってゲームオーバーとなる日は近い。

全人類が団結して気象操作と戦わなければならない。時とともに我々はますます窮地に追いこまれる。